

目次

論文

- 古代ギリシアと日本との比較を通してみるカザンザキスのギリシア像
——「日本旅行記」と「ペロポネソス旅行記」を中心に——
- | | | |
|----------------------------|-------|----|
| | 福田 耕佑 | 1 |
| 「二十年代派」作家ディモステニス・ヴティラスの多様性 | 橘 孝司 | 31 |

研究ノート

- ミクス・テオドラキス作曲
オディッセアス・エリティス
『アクション・エスティ』（第1回）
- | | | |
|--|-------|----|
| | 土居本 稔 | 45 |
|--|-------|----|

エッセイ

- 古典に見えるナシ
- | | | |
|--|-------|----|
| | 水谷 智洋 | 60 |
|--|-------|----|
- ビザンツ文学余滴 第5回（通算第6回）
——ビザンツ末期の文人プレトンの建白書その一——
- | | | |
|--|------|----|
| | 戸田 聡 | 75 |
|--|------|----|

発表要旨

- 《2020年度冬期研究発表会》
ミクス・テオドラキス作曲
オディッセアス・エリティス『アクション・エスティ』
——解釈と評価のアプローチ法——
- | | | |
|--|-------|----|
| | 土居本 稔 | 98 |
|--|-------|----|
- 初期「ギリシャ研究会」における
性と西洋古典の扱い方について
- | | | |
|--|---------------|----|
| | フェレイロ・ポッセ、ダマソ | 99 |
|--|---------------|----|

- 《2021年度夏期研究発表会》
ストア派とペリパトス派の倫理学説に対するキケロの応答
- | | | |
|--|-------|-----|
| | 中西 捷渡 | 102 |
|--|-------|-----|

翻訳

テオクリトス 第一歌「ティルシス またはダブニスの死」	八木橋 正雄	143
イオン・ドラグミス「サモトラキ」(五)第九章	福田 耕佑	132
ニコス・カザンザキス「エル・グレコへの報告」		
——序、先祖たち——	藤下 幸子	125
V・コンスタンディノス「有利な底」	橘 孝司	110
日本ギリシア語ギリシア文学会報告		144
日本ギリシア語ギリシア文学会会則		146
「プロピレア」投稿規定		148
編集後記		149